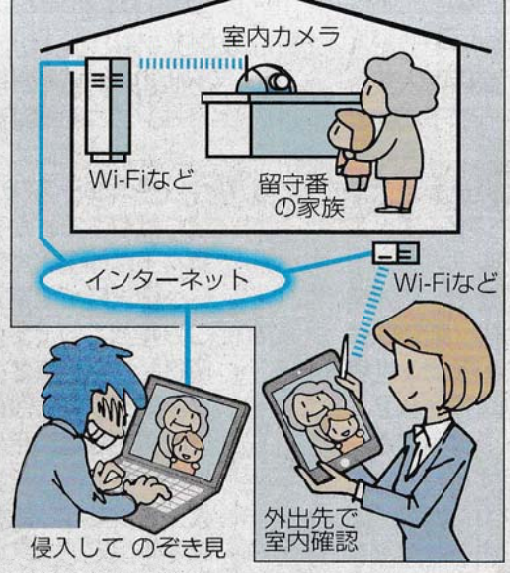


防犯カメラのぞき見多発

インターネットに接続された防犯カメラなど「IoT機器」へのサイバー攻撃が国内外で相次いでいる。防犯カメラにアクセスして映像を公開するサイバー攻撃がサイバー攻撃に遭いツイッターや、IoT機器がサイバー攻撃に遭いツイッターが一時利用できなくなる被害も発生している。セキュリティの専門家は「安全対策はまだ十分と見えず、利用者側も危機意識を持つ必要がある」と警告する。



IoT機器 サイバー攻撃 「危機意識持ち対策を」

できる。中には一般家庭の玄関内の映像もあり、被害は福岡市など全国各地に広がっている。

カメラは無線LANのWiFi（ワイファイ）などを通してネットにつながる。離れた場所でもパソコンで映像を確認できるため、子どもや高齢者の見守りにも活用される。通常はパスワードを変更して第三者に見られないようにするが、初期設定のままだと容易にアクセスされ、のぞき見される危険性があるという。

昨年、このサイトが問題になり、多くの飲食店やコンビニが対策を取ったが、今も見られる映像は多い。大分県などでウェブカメラの販売、設置を手掛ける総合防犯設備士の片山勇さん

「利用者の意識の低さ、全に。この影響で通販大手アマゾンやツイッターなどが利用できない状態が断続的に発生した。IoT機器を標的としたウイルスにウェブカメラなど数十万台が感染して乗っ取られ、攻撃側に利用されたとされる。こうした事態を受けて

「ワードBOX」として情報や動画をやりとりしたり、遠隔操作したりできる家電や設備。ネットにつながる自動車や工場の機械なども含まれる。IoTは英語の「インターネット・オブ・シングス」の略で「モノのインターネット」と訳す。遠隔地から映像を見られるウェブカメラや、外出中に予約録画ができるビデオレコーダーなど多種多様な機器が開発されている。

米国内では昨秋、ネットの機器を標的としたウイルスにウェブカメラなど数十万台が感染して乗っ取られ、攻撃側に利用されたとされる。こうした事態を受けて

サイバー攻撃から国や企業を守る技術者を支援しようと、福岡市に「サイバーセキュリティ財団」が発足した。2020年に、セキュリティに携わる人材は約19万3千人不足するという経済産業省の推計もあり、育成が課題となっている。財団は、技術者が研究や開発に専念できるように資金を援助し、勉強会なども定期的に開催する。財団は福岡県内のセキュリティ関係の会社やIT企業、弁

技術者に資金を援助 福岡市にセキュリティ財団

護士が協力して昨秋に設立。初年度は基金を基にして県内の技術者を中心に、10人に計2400万円を助成する。1年以内にセキュリティソフトなど何らかのサービスを開発することが条件で、人的支援も行う。成果は財団に賛同する企業に還元する。財団は民間技術の底上げを目指すという。宮脇正理事長は目標は技術者への『無限支援』。福岡を先進県にしたいと話す。

情報セキュリティ大手のトレンドマイクロによると、ネットに接続されたデバイスがウイルスに感染した事例も報告されているという。同社の担当者は「脅威の存在を知り、利用者側もソフトウェアの更新やセキュリティ設定の確認を心掛けてほしい」と話す。(久知邦)

飛ぶフラミンゴ 酉年彩る

宮崎の動物園 ショーが人気

的で日本人に「飛べない鳥」と誤解されることも多いフラミンゴ。飼育員が「本来の姿を知ってほしい」との思いを強くしたのがきっかけ。

金銭授受いじめ認定を

震災避難 生徒側、横浜市に意見書 東京電力福島第一原発事

11月、いじめや金銭授受を把握しながら学校や市教委が適切に対応しなかったとする報告書をまとめた。金